

XRE Transcoder

Multiformat/codec Video File Transcoder

リリースノート

Software Version 8.51b2215 (2017年7月版)

機能追加

- 2つのトランスコードジョブの同時処理をサポート。
- Apple ProRes MOV クリップへのトランスコードをサポート。
- 4K (QFHD, DCI 4K)クリップへのトランスコード用プリセットを追加。
- ウォッチフォルダーに既存のファイルを検索してトランスコードする機能を追加。
- MPEG, XDCAM, XAVC へのトランスコード時にセグメントエンコードをサポート。
- トランスコードの進捗を表示するプログレスバーを追加。

更新履歴

本バージョンにて以下の不具合を修正・改善しました。

- RED クリップ(.R3D クリップ)の変換ができない。
- トランスコード終了時に、同じログが2つ記録される。
- ウォッチフォルダーに置いたクリップを CMF クリップへトランスコードして K2 SAN へエクスポートできない。
- EWC2 ファイル(変換対象外のファイル)のみがウォッチフォルダーに存在すると、確認ダイアログが表示される。
- ウォッチフォルダーのフォーマット設定を変更すると、XRE Transcoder がフリーズする。
- XRE Transcoder が XRE Server と接続した際、ウォッチフォルダーにすでにソースクリップが存在するとトランスコードが実行されない。
- ウォッチフォルダーにトランスコード済みのソースクリップがある状態で、ウォッチフォルダー設定をコピーすると、再変換実行の確認ダイアログが表示される。
- ウォッチフォルダー設定をコピーして XRE Transcoder を再実行すると、2つのウォッチフォルダー設定(コピー元とコピーした設定)によるトランスコードが実行される。

制限事項

Windows Media Video ファイルをソースとして使用する場合

XRE Transcoder をインストールするコンピューターの OS が Windows Server OS の場合は、デスクトップ エクスペリエンスをインストールしてください。

- 1) [スタート] > [管理ツール] > [サーバermaneージャ] を選択します。
- 2) サーバermaneージャの詳細ウィンドウの [機能の概要] で [機能の追加] をクリックします。
- 3) 機能の追加ウィザードが起動します。[機能] 一覧で、[デスクトップ エクスペリエンス] を選択し、[インストール] をクリックします。

QuickTime for Windows のアンインストールによる対応フォーマットの制限

QuickTime for Windows をアンインストールした場合は、下記フォーマットのファイルが取り扱えなくなります。

静止画: Flash Pix, JPEG2000, Mac Pict, QuickTime Image

動画 (MOV): 3GP, 3G2, M4V および他のコーデックの MOV ファイル

音声: MOV (Linear PCM, AAC を除く), QuickTime Audio

これらのファイルを取り扱う必要がある場合は、EDIUSWORLD.COM [FAQ ページ](#)をご覧ください。QuickTime Essentials をインストールしてください。

- 1) XRE Transcoder のプラグインの設定を開きます。

- 2) QuickTime 項を開き、「QuickTime インポーターを有効にする」にチェックを付けます。
- 3) [OK] ボタンをクリックします。
- 4) XRE AdminConsole を開き、Plug-in アイコンをダブルクリックします。
- 5) QuickTime 項を開き、「QuickTime インポーターを有効にする」にチェックを付けます。
- 6) [OK] ボタンをクリックします。